

## 日本点字普及協会 設立趣意書

1825年にフランスのルイ・ブライユによって考案された点字は、重度の視覚障害者が読み書きできる唯一の文字として世界中で使われています。我が国では、1890（明治23）年11月1日に日本点字が制定され、読書、教育、投票、試験などに広く使われて、視覚障害者の社会参加に大きく役立ってきました。

点字による情報提供は、古くは写本の形で1部だけ製作するか、あるいは点字製版機という特別な機械を使って原板を作り、必要部数を印刷するという方法しかありませんでした。それが、IT機器の普及に伴い、コンピュータを使って少数の複数製作が可能となり、さらにネットワークを通じてデータ配信を行うなど、日々進歩しています。特に、1988年にはじまった「てんやく広場」（1998年に「ないーぶネット」、2010年に「サピエ」に改称）によって、16万タイトル（2012年現在）を超える点字データが、24時間どこからでもダウンロードできるシステムができています。

### 【視覚障害者への点字の普及】

このように、点字周辺の機器、点字の環境は日々発展しているのですが、肝心の点字を使う視覚障害者が減少する傾向にあります。

厚生労働省が5年ごとに行う「身体障害者実態調査」によると、2006（平成18）年現在、全国約31万人の視覚障害者のうち、点字を使用する人は約3万人であり、点字を必要としながら点字の読み書きができない人が多数存在することが明らかになっています。

近年、視覚障害者の教育や福祉に関わる人々の間で視覚障害者の「点字離れ」が指摘されるようになりました。一般社会でも「若者の活字離れ」が言われて久しいのですが、文字の読み書きはできるが新聞や本を読まないという「活字離れ」と、視覚障害者の「点字離れ」とは全く異質のものであり、後者の場合は、「文字を失う」ことを意味し大変な問題です。

最近では、音声情報が豊富に提供されるようになり、耳から情報を得ることが多くなりました。このことは好ましいことではありますが、これによって文字である点字の存在価値が低くなることは決してありません。

このような状況の中で、私たちは点字を使う視覚障害者をもっと増やします。そのために、現在の標準サイズの点字に加えて、点間・マス間を広げた**Lサイズ点字を普及**して点字のサイズを選択できる環境作りをし、また、中途視覚障害者が点字を学習する際の負担を軽減するため**凸面点字器の開発・普及**、さらに**点字の規則を視覚障害者に分かりやすく解説した資料の作成**に取り組み、「点字を覚えるのは難しい」「音声情報さえあればいい」といった風潮をぜひとも改善して行きたいと思っています。

## 【一般社会への点字の普及・啓発】

一般社会では、おとなも子どもも、点字は難しいという先入観を持たれてしまうことが多いのですが、もっと気軽に点字に親しみ、視覚障害者福祉への関心を深めてほしいと思います。学校の授業の一環として点字を学ぶ機会が多く的小学校で持たれていますが、ほとんどが1時間程度で終わってしまい、点字に興味を持った子どもがさらに学ぼうとしても、その受け皿がないのが実情です。そのために、身近なおとな（先生）が子どもと楽しみながら**気軽に点字を学ぶことができる啓発資料の作成**に取り組みます。また、**凸面点字器の普及**によって、短時間で点字の読み書きを体験し、エレベーターや駅の自動券売機、お酒や洗濯機などに付いている点字サインを正確に読んで点字を身近に感じていただけるようにします。

そして、点字を学ぶことをとおして、点字を使う人々へ思いを広げ、視覚に障害を持つ人々の生活上の不自由さを理解して、ふだんの生活の中でさりげないサポートができるひとを増やしていくための活動に取り組みます。

我が国では、毎年必ずと言っていいほど各地で視覚障害者のホーム転落事故が起きています。現在、点字ブロックはほとんどのホームに敷設されていますが、それでも事故は起きます。また、ホームドアの設置が進んではいますが、すべての駅に完備することは不可能です。このような状況の中で、最も大事なことは周囲の人が気軽に声をかけてサポートしてくださる環境ができることです。

私たちの活動が、結果として視覚障害者のホーム転落事故をゼロにするための一助になることを願っています。

以上のような考えから、点字の普及・啓発を全国的に展開することを目的とした特定非営利活動法人（NPO 法人）を設立します。

点字の普及は、別に新しい事業ではありません。全国各地で、すでに多くの施設・団体に取り組んでいます。私たちも、点字出版の場や、点字図書館、点訳ボランティア団体などで、点字の普及に取り組んできました。しかし、それらは、いろいろな事業の中の一つに過ぎませんでした。このたび立ち上げる日本点字普及協会は、点字の普及に目的を絞って事業活動を展開します。

ぜひ多くの方々のご参加、ご協力をお願いいたします。

2012年12月8日

発起人 代表 高橋 實

加藤三保子、高久加代子

藤野 克己、渡邊 亮